



荒川公園



荒川自然公園



区議会定例会・9月会議

平成26年度一般会計決算ほか

3 特別会計決算を認定

平成27年度荒川区議会定例会・9月会議は、9月11日から10月15日までの35日間の会議期間で開かれました。

9月会議の1日目と2日目には、7人の議員から区政全般にわたり一般質問が行われました(要旨は2・3面に掲載しています)。

9月会議では、議案28件が提出されました。このうち平成26年度決算4件は、決算に関する特別委員会を設置して審査を行いました(議案の審議結果は8面に掲載しています)。

9月会議日程

- 9月11日 本会議
- 9月14日 本会議
- 9月15日 総務企画委員会
福祉・区民生活委員会
- 9月17日 文教・子育て支援委員会
建設環境委員会
- 9月25・28・29日 10月1・2・5・6・8日
決算に関する特別委員会
- 10月14日 議会運営委員会
- 10月15日 本会議

掲載記事のご案内



あらみいあら坊

区政のこころをきく

一般質問要旨

- 3面・2面
- 北城 貞治議員(自民党)
 - 横山 幸次議員(共産党)
 - 中村 尚郎議員(公明党)
 - 町田 高議員(維新の党)
 - 中島 義夫議員(自民党)
 - 小島 和男議員(共産党)
 - 森本 達夫議員(公明党)

決算審査の概要

- ・監査委員による決算審査の報告
- ・平成26年度主要施策の成果

5面・4面

- ・説明(要旨)
 - ・決算の審査経過
 - ・主な総括質疑
- 決算に対する討論

7面・6面

- ・決算に対する討論(続き)
- ・委員会活動
- ・議会運営委員会
- ・常任委員会
- ・特別委員会

8面

- ・意見書提出
- ・議会だよりリニューアルのご案内
- ・請願・陳情とは
- ・議案の審議結果

区政のごとをきく

一般質問 要旨

基本計画の改定と認知症対策を問う



北城 貞治
(自民党)

基本計画の改定を問う
区政運営の基本指針となる基本計画の最終年次が来年度に迫っている。区では、新たな基本計画を策定することだが、そのためには、現計画を総括し、目標の達成度を確認する必要がある。区は、現計画をどう評価しているのか問う。また、改定にあたっては、人口減少、公共施設の老朽化、行政需要の増大、各自治体の全国連携等、区政の新たな課題を抽出し、課題解決に向けた道筋を再設定する必要がある。将来に向けた区政のあり方等、どのような方向性を示そうとしているのか問う。

行うこと、全国の自治体が連携して発展を目指していくことが重要だと考える。

認知症対策を問う
認知症は、周囲の理解と支えがあれば、住み慣れた地域で穏やかに暮らし続けることができる。また、普段の生活管理が予防に繋がると言われている。症状が軽い段階で治療を受ければ、高い治療効果が期待できる。医師会との懇談会において、最大限協力する旨の話をいただいた。区内の地域包括支援センター全てに認知症地域支援推進員を配置し、認知症への理解を深める普及啓発及び相談体制の確立を図るべきと考える。さらに、医師会等の関係機関との連携を図り、全庁的に取り組む必要があると考えるがどうか。

子どもの豊かな保育環境の確保と誰もが安心して老後を送るために



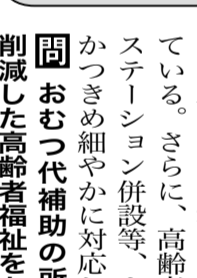
横山 幸次
(共産党)

子ども達に豊かな保育環境を
現在、保育環境の整備、保育の質を確保することが大きな課題となっている。保育の質と安定的運営を確保するシステムを作るのと、とりわけ、人件費比率の基準を明らかにすることを求める。

弾力化や園庭のない保育園も可能になってきた。子どもが思いっきり遊ぶことのできる本来のあるべき環境が必要である。そのため、認可保育園の定員弾力化の解消を進めるとともに、園庭等の代替施設整備を区として推進すべき。

一時保育事業の拡大やサービスの多様化等により、保育の質向上に努めている。また、安定的な園運営を確保するため、施設整備助成等も実施している。人件費比率は、一律に示すことは困難と考えるが、園から提出された実績報告に基づき、厳しくチェックを行い、園運営の適正化に努めている。

高齢者の生活支援と子どもの貧困対策を問う



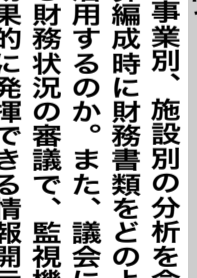
中村 尚郎
(公明党)

高齢者の生活支援を問う
高齢者人口だけでなく、地域の实情に応じたセンターの配置を行うとともに、職員配置は、区独自の基準として増員することとしている。さらに、高齢者みまもりステーション併設等、より効果的かつきめ細やかに対応している。

各所管が執行の結果を分析・評価する段階や、予算要求に反映させる段階で活用を想定している。また、区の実態に合ったセグメント別に集約し、より明確で分かりやすい情報開示と情報活用を進めていくものと認識している。

子ども達の貧困に立ち向かうため
子ども達の貧困に立ち向かうため、固定資産台帳の整備は、組織横断的な取り組みが不可欠である。専門的かつ包括的な権限を持つ常設的部署が必要と考えるがどうか。

新地方公會計改革の目的と方向性及び子どもの貧困問題を問う



中村 尚郎
(公明党)

新地方公會計改革の目的と方向性を問う
共施設等総合管理計画策定の最も基本的なデータと認識している。

子ども達の貧困問題を問う
子ども達の貧困問題は、様々な要因が複雑に絡み合っており発生している。その中で、児童虐待への対応は、喫緊の課題である。子ども家庭支援センターと児童相談所の二層構造を見直すことが不可欠である。特別区への移管を強く求める。

子ども達の貧困問題を問う
子ども達の貧困問題を問う
子ども達の貧困問題を問う
子ども達の貧困問題を問う
子ども達の貧困問題を問う



各一般質問の詳細については、現在作成中の会議録がご覧いただけます。また、荒川区議会ホームページで平成13年5月以降の本会議録を検索することができます。あわせてご利用ください。

児童相談所設置と南千住六丁目永 久水利施設の整備状況及び地域を 挙げた訓練の実施を問う



町田 高
(維新の党)

児童相談所設置を問う

問 児童相談所と子ども家庭支援センターの2カ所の児童相談行政があり、児童虐待等の対応をしている。このことによる課題を解決するために、区に児童相談所を移管し、子どもを守る仕組みを作らなければならない。進捗状況を問う。

答 特別区長会では、都に児童相談所の早期移管を申し入れ、都区の課長級による議論も再開した。児童相談所の区移管に向けて理解が得られるよう全力を傾ける。
南千住六丁目永久水利施設の整備状況及び訓練の実施を問う
問 南千住六丁目永久水利施設

を整備することだが、進捗状況を問う。また、完成後はどのように訓練を実施するのか。中学校の防災部も参加する訓練が効果的と考えるかどうか。

答 南千住の施設では、送水を行う資機材を本年11月に配備し、運用を開始する。訓練では、消防団等と連携し、安全な活動ができるよう実施する。また、中学校防災部の参加を呼びかけるとともに、地域を挙げた訓練を実施していく。
○他の質問項目
○県費負担教職員に関する質問

防災対策強化と街づくりの推進で 尾久地域の活性化を



中島 義夫
(自民党)

防災対策を問う

問 東京都は東京オリンピックに間に合うよう、積極的に無電柱化事業に取り組んでいる。区としても荒川遊園通りの無電柱化を進めなければならない。進捗状況を問う。

答 区は、北区と連携し、地下道を経路とする安全な進入方法や敷地内の軌道以外の部分を確保する等、段階的に調整を進めている。避難場所の指定については、概ね5年ごとに見直しを行っている。現在、あらかわ遊園宮前公園一帯を避難場所の候補地として、都に要望している。今後もJR東日本との協議を積極的に進めていく。

問 西尾久地区の一部の避難場所がJR田端・尾久操車場になっているが、避難場所の多くの場所は軌道敷地内であり、また避難するにも入口が少ない等多くの制約がある。このことから、具体的な避難方法の周知や避難場所の見直し等の検討を行うべきと考えられているが、

見解を問う。
答 区は、北区と連携し、地下道を経路とする安全な進入方法や敷地内の軌道以外の部分を確保する等、段階的に調整を進めている。避難場所の指定については、概ね5年ごとに見直しを行っている。現在、あらかわ遊園宮前公園一帯を避難場所の候補地として、都に要望している。今後もJR東日本との協議を積極的に進めていく。

問 荒川遊園地前交差点及びび熊野前交差点について、斜め横断を可能とするスクランブル方式とする等、より一層、歩行者と車両がスムーズに流れるよう東京都や警視

庁に働きかけを行うべきと考えられているが、

問 交差点のスクランブル化は、歩行者にとって利便性が高まる一方で、車両の待ち時間に影響を与える可能性も指摘される。こうした点を踏まえつつ、地域の声を聞きながら、警視庁や東京都に働きかけを行う。

問 荒川区におけるコミュニティバスは、現在「さくら」「汐入さくら」「町屋さくら」の3つのルートで運行されており、区民の足として定着し、利用者は増加傾向で推移している。しかし、尾久地区や日暮里地区はまだ導入されていない。尾久地区は、公共交通として、東西に都電荒川線、南北には一部で田端駅方面行きの都バスが走っているのみである。「不公平さを感じる」といった地域の声が寄せられる。日暮里地域においても同様である。尾久地域と日暮里地域へのコミュニティバス導入を希望するが、区の見解を問う。

答 コミュニティバスは、事業者である京成バスの自主運行により運営していることから、一定以上

日暮里地域の緊急施設改善と都市計 画道路92号線の拡幅見直しを問う



小島 和男
(共産党)

日暮里地域の緊急施設改善を問う

問 二日小のトイレは35年間改修されておらず、緊急改修の着手を求める。また、日暮里図書館は外壁と給排水設備の大規模改修が行われていない。実施を求める。

答 二日小のトイレ改修は、区の改修計画の給排水工事に併せて準備を進めている。日暮里図書館は、同改修計画に基づき改修に向けて検討していく。

問 酷暑対策として空調施設の緊急対策を学校、東日暮里通所サードセンター及びボンエルフについて検討することを求める。

答 学校施設の空調機が稼働しなくなった場合、緊急改修工事により対応している。サービスマン、ボンエルフの空調施設は、修繕を終えている。今後も空調施設の点検、適切な修繕に努めていく。

問 学校の特別教室にエアコンを設置するよう求める。

答 特別教室は、平成14年から空調機の設置を開始し、継続して冷房化に取り組んでいる。

問 都市計画道路92号線の拡幅見直しを問う

問 補助92号線は、何回かの計画変更で終点が延伸された。区として、延伸の理由や経緯をどのように把握しているのかを問う。

問 教育関連について
○環境と健康について

問 東京都に図書等は存在との回答のため、区として延伸理由や経緯を把握できない状況である。

問 第4次東京都都市計画道路整備方針で事業化推進を見直すよう、区が働きかけをすることを求める。

問 区は、地元の声を直接伺い、都に対し丁寧な対応をするよう求めた。今後も都へ求めていく。

防災対策と町屋地域の安心安全な 街づくりを問う



森本 達夫
(公明党)

防災対策を問う

問 近年、地震以外でも自然災害の猛威は年々拡大している。多様な災害に対応できる改訂版「家庭用防災マニュアル」を策定すべきと考えるが、区の見解を問う。

答 様々な形の災害へ幅広く対応できる新たな防災マニュアルの策定を検討していく。

問 区では年一回実動訓練を実施している。しかし、全ての地域で頻繁に行うことはできない。そこで、DIGやHUG等いわゆる図上訓練を取り入れることを提案するかどうか。

答 指摘の交差点は、これまでも区議会からの要請や地域からの強い思いを受け、警視庁に対して要望書の提出を行うとともに、信号機の早期設置に向けた環境整備を行っている。しかし、交通量等の理由から未だ実現できていない状況にある。引き続き、道路交通の安全性の確保に繋がる対応を行っていく。

問 老朽空き家は、大規模な震災の際に倒壊の恐れがあるといった防災上の問題を抱えている。町屋地域の不燃化や防災の意味も込めた空き家対策について、スピード感をもって取り組んで欲しいと考えるが、区の見解を問う。

答 区は、区内全地域を対象とした空き家等の実態調査に着手した。この調査をもとに、空き家対策を総合的に実施するための計画策定作業を進めていく。

問 町屋地域の安心安全な街づくりを問う

問 芸術文化振興事業の取り組みについて
○行政の発信力向上のための「あらかわ区報」について

問 芸術文化振興事業の取り組みについて

問 行政の発信力向上のための「あらかわ区報」について

平成27年度荒川区議会定例会・11月会議は11月27日に開かれる予定です。



平成 26 年度決算を認定 決算に関する特別委員会

平成 26 年度一般会計歳入歳出決算ほか 3 特別会計歳入歳出決算については、議長・監査委員を除く全議員で構成される決算に関する特別委員会(委員長=茂木 弘、副委員長=中村尚郎)を設置しました。9 月 25 日から審査を行い、いずれも認定することに決定しました。



監査委員による決算審査の報告

平成 26 年度決算については、各会計歳入歳出決算書、その他地方自治法に定める書類等を審査いたしました。

その結果、決算計数に誤りはなく、各会計の決算内容、予算の執行状況等も適正と認められました。その旨の審査意見を 8 月 28 日に、区長宛に提出いたしました。区は、平成 26 年度において、震災対策の強化を始めとする区民の安全安心の確保や子育て支援の推進、教育環境の整備等、将来の夢を育む投資にも迅速かつ積極的に取り組まれました。こうした取り組みを踏まえ、決算の収支状況、基金及び地方債残高等の状況を見ますと、区は、効率的・効果的に健全な財政運営に努めていると評価できるものであります。

わが国の景気は、「月例経済報告」によれば、「改善テンポにばらつきもみられるが、緩やかな回復基調が続いている」とされています。しかしながら、今後の財政状況を概観しますと、老朽化した

である旨の意見を 8 月 28 日に、区長宛に提出したことを、あわせてご報告いたします。

以上、審査の結果を申し上げます。使命を重く受けとめ、行財政の正かつ効率的な運営を確保し、区民の信頼と期待にこたえるべく引き続き監査業務に万全を期してまいります。議員のご理解とご協力をお願いし、報告とさせていただきます。

平成 26 年度 荒川区主要施策の成果説明(一部抜粋・要旨)

生涯健康都市

○地域ぐるみの健康づくり推進事業
だれもが健康で生き生きと暮らせる「生涯健康都市あらかわ」の実現に向け、区民の健康寿命の延伸を図るため、生活習慣病の発症や進行を防ぐ健康的な生活習慣づくりを重点を置き、地域での健康づくり活動を支援した。

子育て教育都市

○病児保育事業
保護者の子育てと仕事の両立支援のため、保育園在籍児が病気のため登園できないときに児童を預かる病児保育事業を新たに開始した。

産業革新都市

○商業事業者訪問支援事業
区内商業事業者の課題等の把握や更なる経営支援を図るため、中小企業診断士が戸別訪問し、区の産業振興施策の周知を図り、経営課題のアドバイスを実施した。

環境先進都市

○リース方式による街路灯 LED 化の促進
二酸化炭素排出量及び維持費の削減を図るため、電柱共架タイプ

安全安心都市

○安全確認システムの構築
震災時、区民の安全を迅速に確認するための「無事ですシール」を区内の全世帯を対象に、また、避難所での避難者の把握並びに区民の避難状況を把握するための「避難者カード」を全区区民を対象に配布した。

文化創造都市

○あらかわキャラバン事業
荒川区を代表する芸術文化団体等を交流都市に派遣して交流活動を行い、荒川区の芸術文化活動を広く周知するとともに、住民相互の交流促進と芸術文化の振興を図った。

計画推進のために

○荒川区職員ビジネスカレッジ
2 年課程の「本科課程」、短期間で国家資格等の取得を応援する「実務専門課程」、自宅学習を支援する「通信教育支援コース」、管理職を対象とした大学院等、多様なカリキュラムの充実を図った。

自民党

小坂 眞三 委員
都電の軌道敷き緑化の取り組みについて
補助 90 号線の整備にあわせた沿道の緑化について
ゆいの森あらかわ及びその周辺の環境づくりについて
荒川公園永久水利の深井戸周りの緑化について

自民党

鳥飼 秀夫 委員
水害が発生した場合の区民避難の必要性について
国家戦略特区制度の改正の経緯や区の認識について
都立汐入公園内の保育園整備予定地の地域への活用について

公明党

松田 智子 委員
荒川区が取り組む平和事業につ

決算の審査経過

9 月 25 日

○監査委員意見(守屋誠監査委員)

○決算の概況説明(副区長)

○主要施策の成果説明(副区長)

○総括質疑(8 会派)

※主な質問項目は別掲

○一般会計歳出審査(議会費・総務費)

9 月 28 日

○一般会計歳出審査(総務費)

9 月 29 日

○一般会計歳出審査(総務費)

10 月 1 日

○一般会計歳出審査(総務費・民生費)

10 月 2 日

○一般会計歳出審査(民生費・衛生費)

10 月 5 日

○一般会計歳出審査(環境清掃費・産業経済費・土木費)

10 月 6 日

○一般会計歳出審査(土木費・教育費・公債費・諸支出金・予備費)

○一般会計歳入審査

一般会計歳入歳出決算
採決の結果
認定することに決定

国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算、後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
採決の結果
認定することに決定

介護保険事業特別会計歳入歳出決算
採決の結果
認定することに決定

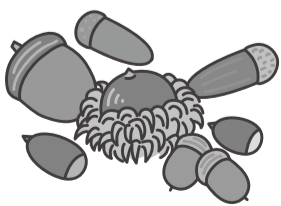
外郭団体に関する調査
10 月 8 日

児童への向き合い方について
改革の会
藤澤 志光 委員

腰痛予防体操開発による区民の腰痛対策について
維新の党
町田 高 委員

マイナンバー制度導入による行政の効率化について
日本創新党
小坂 英一 委員

学校の安全管理、発達障害の児



主な総括質疑

自民党

小坂 眞三 委員

都電の軌道敷き緑化の取り組みについて

補助 90 号線の整備にあわせた沿道の緑化について

ゆいの森あらかわ及びその周辺の環境づくりについて

荒川公園永久水利の深井戸周りの緑化について

自民党

鳥飼 秀夫 委員

水害が発生した場合の区民避難の必要性について

国家戦略特区制度の改正の経緯や区の認識について

都立汐入公園内の保育園整備予定地の地域への活用について

自民党

相馬 堅一 委員

安保関連法案に対する区長の認識について

在宅で安心して住み続けられる区の対策強化について

風水害予防計画の抜本的見直し

民主・市民

竹内 明浩 委員

区内における AED の設置状況並びに普及啓発について

防災普及啓発に係る防災アプリについて

改革の会

藤澤 志光 委員

腰痛予防体操開発による区民の腰痛対策について

マイナンバー制度導入による行政の効率化について

維新の党

町田 高 委員

総括質疑については DVD を広報課及び各区立図書館で貸し出してありますのでご利用ください。

平成26年度決算の概要



	予算現額	歳入(収入率)	歳出(執行率)	歳入歳出差引 残高	
一般会計	969億5667万9000円	909億5290万3422円 (93.8%)	877億1369万9459円 (90.5%)	32億3920万3963円	
特別会計	国民健康 保険事業	260億8217万9000円	247億4722万5957円 (94.9%)	246億5085万7293円 (94.5%)	9636万8664円
	後期高齢者 医療	44億4900万円	42億3667万2716円 (95.2%)	40億7799万1161円 (91.7%)	1億5868万1555円
	介護保険事業	169億6196万5000円	155億1573万3754円 (91.5%)	150億5174万8984円 (88.7%)	4億6398万4770円
計	1444億4982万3000円	1354億5253万5849円	1314億9429万6897円	39億5823万8952円	

本区の財政運営の健全性を主な財政指標から見ると、経常収支比率、公債費比率は改善しており、健全化判断比率の各数値も早期健全化基準を大きく下回っている。また、包括年次財務報告書においても負債が減少し、区の財政状況は、現時点で概ね良好と言える。しかし、今後は法人住民税の更なる国税化等の影響が懸念され

賛成

数多くの事業や取り組みを積極的に進め、着実な執行がなされたものと高く評価する

公明党

一方、社会保障関係費の増大、首都直下型地震への備えや水害対策の強化等、多額の財政負担を伴う行政需要が見込まれる。従って、今後の区政運営は、財政の健全性を確保しながら、必要な施策には予算を重点的に投入する等、効率的・効果的な展開が求められる。具体的な施策では、我が党が予算要望として区長に提出した「平

成26年度予算に関する要望書」に掲げた項目は、概ね予算化され執行されている。さらに決算特別委員会で、平和事業・平和教育、女性活躍推進法案、隙間のない水害救護、受動喫煙防止対策の強化、「ゆいの森」完成を近隣の方と喜び合えるような配慮等について要望や提案を行った。基本的に前向きな答弁がなされた。加えて、子どもの貧困対策の具体策を要望し、タブレットPCの全校導入について、教育効果を最大限に発揮するように求める。

以上、平成26年度決算については数多くの事業や取り組みを積極的に進め、着実な執行がなされたものと高く評価する。今後も区民サービスの向上に努力されるよう求め、賛成討論とする。

26年度決算について、このたびの決算審査で成果を確認したが、区政の全般にわたって区民サービスの向上に向けた着実な前進が図られており、改めて西川区政の成果を高く評価する。

賛成

区民サービスの向上に向けた着実な前進が図られたことを評価

自民党

旭電化尾久工場跡地の「教育・文化施設」の用地について、用地全体をグラウンドとして整備するという東京都の提案は、これまでの経緯を考慮すれば最善の策である。防災・防犯では、洪水発生時における避難誘導情報の伝達体制の整備、防犯カメラの積極的な普及支援等を求める。また、三河島駅北地区再開発における旧真土小学校の校舎除去を求める。

健康・福祉と子育て支援では、地域密着型施設整備に対する区独自の財政支援制度の検討、認知症地域支援推進員の全ての地域包括

らかわ遊園を積極的に活用する等により、観光振興と地域活性化が図られるよう期待する。また、「ゆ

10月15日の本会議において、平成26年度一般会計決算について各会派から討論が行われました。その要旨をお知らせします。

平成26年度決算をこう評価する

支援センターへの配置、児童相談所の区への早期移管の積極的な推進等を要望する。

環境については、「荒川区低炭素地域づくり計画」を踏まえ区から新たな温暖化対策を行い、また別の更なる徹底等により、ごみの減量が図られることを期待する。

道路や公園等の整備では、区道の電線地中化の推進、「花と緑の基本計画」の具体的な取り組み等を求める。

26年度決算は、予算目的を達成し、区民の期待に応えた執行であると判断した。これからも、区民サービスのさらなる向上を目指し、区民が真に幸福を実感できる荒川区の実現に向け全力を尽くしてほしい。決算特別委員会での我が党議員からの提案等を真摯に受け止め、今後の区政運営に反映するよう強く要望して、賛成討論とする。



反対

暮らし応援・経済給付の拡大こそ必要。切実な実態に行政の対応が追い付いていない

共産党

住民の福祉と安全の向上を最優先に、健康で文化的な生活を営む権利を保障することを基本に区政運営を進めることが求められる。第一に、本年度は消費税8%増

税と社会保障改悪を本格実施した。年金削減、国民健康保険料等の値上げ等、家計への負担増が連続している。介護保険助成や学校給食の無償化等の暮らし応援・経済給付の拡大こそ必要だった。第二にこの1年、区内で増えた入所施設は1か所だけである。また、人間らしい介護の提供が出来ておらず、切実な実態に行政の対応が追いついていない。第三は、待機児童解消は引き続き課題である。同時に、保育園の運営費の具体的検証が必要である。全ての保育園の質の確保と定数の弾力化の見直しが必要とする。

進んでいない。第四に大規模複合施設建設には、全体で60億を超える税金を使う一方、施設の外壁給排水等の大規模改修が遅れている。第五に、タブレット導入ありきで突き進んだ多額の税金投入は無駄遣いである。監査委員としても指摘ができないのでは何をチェックしたのか問われる。トイレ改修やエアコン設置等、他にやるべきことがあった。

賛成

区民誰もが、荒川区に住んでいて良かったと実感できる区政となるよう、一層の取り組みを求める

民主・市民

区が掲げた「安全安心の街づくりや子ども達の希望の実現に向けて、なお一層幸福を実感できる予算」という方針をもとに適切に予算執行、施策実施がされたのか、チェック機能としての認識を持ちながら審議に臨んだ。24時間使用できるAEDの設置を増やし、区内どこにでも使用できる人がいる

「二番地一人運動」の展開を提案する。今年度から新設された中学校防災部の活動時における安全面の不備を指摘する。介護職員の知識、技能等の資質の向上、小学校

放課後事業における明文化された方針による指導員の運営を求める。様々な施策で、民間業者が現場を担っており、質の担保を図らなければならず、監督のあり方を指摘する。委託事業について、契約仕様書に改善すべき点はないか、適切に運営がされているか等、全庁的に精査することを求める。以上述べた施策の改善を図り、区民誰もが、荒川区に住んでいて良かったと実感できる区政となるよう、来年度予算編成に向けた一層の取り組みを求めて賛成討論とする。

反対

消費税8%は区内の中小事業者の廃業の引き金になった。これまで進めてきた区の業務の民間移行を適切に見直す時期だ

元気クラブ

納税義務に苦しむ中小事業者には何ら救済策がなく、明らかな輸出入大企業への補助金である還付金は税率10%で6兆円に上る。全く不公平だ。中小事業者を多く抱える

反対

国益を常に考え、歴史の縦軸の中で何を引き継ぐべきかという大局観をもつべき

日本創新党

学校教育全体を道具頼りで自律性のない方向に劣化させるタブレットPC使用ありきの授業の強行により、今までのパソコン教室のリース代は無駄になった。自ら

賛成

区は想定外な異常気象について、区民が自主的に備えられるよう、早期に対処すべき

改革の会

荒川区の木造密集地域で空き家住宅の取り壊し時の助成等、区民にとつて不平等な施策が行われている。不燃化特区の優遇策は都の制度とはいえ、区は一刻も早く、

賛成

財政力指数が0.31である点は注意が必要。中長期的に改善できるよう、区政運営を行っていくべき

維新の党

26年度は尾久の原公園で永久水利施設を整備、訓練を実施した。費用対効果を考え、今後も永久水

障害者施設・子どもの居場所・認証保育所など民間の力を借りる事業への財政支援拡充、東尾久本町通りのふれあい館と日暮里織維街の活性化施設の早期整備を求める。様々な分野で業務の民間移行が進んだが、複合就労しないと生活できない賃金の委託先労働者に責任ある区民サービスを全面的に任せられるのか？適切に見直しせよ。

さらに、外国人学校保護者補助金を廃絶しない区の姿勢は、日本を敵視する集団への補助金はあつてはならないという問題提起に対し、正面から議論や説明がなされていない。国益を常に考え、歴史の縦軸の中で何を引き継ぐべきかという大局観を持たなければならぬ。その点がないがしろにされた決算であり、認定に反対する。

状況について、区民が自主的に備えられるように、早期に対処すべきと考える。さらに、旭電化尾久工場跡地等利用計画については、平成3年から今日まで多目的広場として区民に供せられてきた。夜間照明や観客席、駐車場等を設置して、利用範囲を広げるよう都との交渉をすべきである。以上を申し述べ、決算の認定に賛成する。

等の対策を要望する。基礎学力向上や「学校パワーアップ事業」等は重要だと考える。今後も教育費の更なる充実を要望する。財政指標を通し、区の財政は健全であると判断する。しかし、財政力指数が0.31である点は注意が必要と考える。中長期的に改善できるよう、区政運営を行っていくべきと意見を述べ、賛成の討論とする。

委員会活動

3月31日～10月15日

平成26年度定例会・3月緊急会議終了後から平成27年度定例会・9月会議最終日までの間の各委員会の活動状況をお知らせします。

議会運営委員会

議事の取り扱い等についての協議を実施

開会数7回(ほか理事会12回)

平成27年度荒川区議会定例会・6月会議について(6月会議の会議期間について(ほか))

平成27年度荒川区議会定例会・6月会議について(議事日程について(ほか))

平成27年度荒川区議会定例会・6月会議の最終日について(6月会議の終了について(ほか))

平成27年度荒川区議会定例会・9月会議について(初日の開会日について(ほか))

平成27年度荒川区議会定例会・9月会議について(議事日程について(ほか))

常任委員会

総務企画委員会

開会数 8回
議案審査10件
所管調査事項10件

【所管調査事項】

- ・社会保障・税番号制度(マイナンバー制度)の導入に関する対応(2回)
- ・新たな荒川区基本計画等の策定着手
- ・臨時対策「プレミアム付き区内共通お買い物券」の販売状況
- ・指定管理施設に関わる平成26年度の実績評価結果
- ・西日暮里駅前地区市街地再開発事業における公共施設整備の方針
- ・旭電化尾久工場跡地等利用計画における「教育・文化施設」の整備
- ・平成27年度都区財政調整(当初算定)の荒川区算定額
- ・平成27年度行政評価結果等の報告
- ・「平成26年度荒川区包括年次財務報告書」
- 【行政視察】
- ・函館市「函館市地域交流まちづくりセンター」の取り組み
- ・八戸市「八戸市における創業支



援の取り組み」
 ・盛岡市「盛岡市総合計画の策定」
 【区外所管施設調査】
 ・下田臨海学園「財産状況の調査」

文教・子育て支援委員会

荒川区の保育の状況や放課後子ども総合プランの実施状況を調査

開会数 6回
 議案審査3件
 所管調査事項28件

【所管調査事項】

- ・平成28年度から使用する中学校教科用図書の採択の手續き
- ・荒川区の保育の状況
- ・荒川区グループ型家庭的保育施設の開設支援
- ・東尾久一丁目における私立認可保育園の開設支援
- ・荒川総合スポーツセンター温水プールの状況
- ・平成28年度区立小中学校入学生における学校選択制度の実施
- ・臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特例給付金の実施
- ・地域住民生活等緊急支援のため交付金を活用した子育て世帯に対する区内共通お買物券の配付
- ・荒川区高卒認定試験合格支援（ひとり親学び直し支援）事業の実施
- ・安心子育て訪問事業の実施
- ・放課後子ども総合プランの実施状況
- ・平成28年度から使用する荒川区立中学校教科用図書の採択結果
- ・平成27年度からの小学校宿泊行事の見直しの経緯と今後の対応
- ・平成26年度生涯学習施設の実績評価結果
- ・平成26年度社会体育施設（荒川総合スポーツセンター）の実績

評価結果
 ・荒川総合スポーツセンター指定管理者候補者の選定結果
 ・ウォーキング事業の実施
 ・（仮）荒川区障がい者スポーツフェスティバルの開催
 ・日暮里地域における私立認可保育園の整備
 ・国家戦略特区の規制緩和を活用した都立汐入公園内への保育施設の整備

【調査研究事項】
 ・放課後子ども総合プランの検証結果と今後の放課後児童事業の進め方
 ・西日暮里二丁目ひろば館の施設概要（案）
 ・平成26年度保育施設の実績評価結果
 ・区立保育園2園の指定管理者候補者の選定結果
 ・私立認可保育園等に対する「保育士等処遇改善補助事業」及び「保育サービス推進事業」の実施

【区内視察】
 ・ポポラー東京東日暮里園、ハロワフレンズグループ型家庭的保育施設、東尾久一丁目私立認可保育園

【区外視察】
 ・児童・生徒等の安全対策の充実
 ・平成27年度全国学力・学習状況調査の結果
 ・認証保育所の認可化移行等の支援

【区内視察】
 ・ポポラー東京東日暮里園、ハロワフレンズグループ型家庭的保育施設、東尾久一丁目私立認可保育園

福祉・区民生活委員会

平成27年国勢調査の実施方法や胃がんリスク検査の実施を調査

開会数 7回
 議案審査16件
 所管調査事項23件

【所管調査事項】

- ・平成27年国勢調査の実施方法
- ・行商による弁当等販売の取扱いの変更
- ・蚊が媒介する感染症（デング熱等）に関する区の対応
- ・胃がんリスク検査の実施
- ・社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）の導入に関する対応
- ・臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特例給付金の実施
- ・新たな地域包括支援センター及び高齢者みまもりステーションの開設
- ・荒川区介護保険施設等における食費・居住費補助制度の補助対象要件見直し
- ・荒川区美容師法施行条例及び荒川区美容師法施行条例の一部改正（2回）
- ・社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）の運用開始に伴う区民への個人番号カードの交付
- ・「西日暮里駅前地区における区民会館建設可能性及び事業展開手法に関する可能性調査」の結果
- ・平成26年度高齢者福祉施設の実績評価結果
- ・平成26年度荒川区営住宅の実績評価結果
- ・平成26年度障がい者福祉施設の実績評価結果
- ・高齢者用借上げ型区営住宅（西尾久三丁目住宅）の賃料に関する訴訟における和解

・区立サンハイム荒川在宅高齢者通所サービスセンターの認知症対応型通所介護（認知デイ）の休止
 ・「都有地活用による地域の福祉インフラ整備事業（東京都事業）」を活用した介護保険施設事業者の選定
 ・精神障がい者相談支援事業所の開設

【調査研究事項】
 ・平成26年度文化施設の実績評価結果
 ・石浜ふれあい館の指定管理者候補者の選定結果
 ・ふれあい館3館（南千住駅前・荒木田・西尾久）の指定管理者候補者の選定結果
 ・平成26年度ふれあい館の実績評価結果

【区外所管施設調査】
 ・ホテルニューアカオ「施設運営状況の調査」

【行政視察】
 ・静岡県掛川市「地域健康医療支援センター「ふくしあ」について」

【調査研究事項】
 ・山梨県北杜市との災害時相互応援に関する協定の締結

建設環境委員会

道路ストック総点検等の結果や古布回収事業の現状と今後の展開を調査

開会数 6回
 議案審査1件
 所管調査事項8件

【所管調査事項】

- ・「荒川区住宅等の建築に係る住環境の整備に関する条例」の一部改正
- ・道路ストック総点検等の結果
- ・古布回収事業の現状と今後の展開
- ・平成26年度荒川区包括外部監査の結果
- ・「荒川区住宅等の建築に係る住環境の整備に関する条例」の一部改正
- ・西日暮里駅周辺地域まちづくり構想の策定及び西日暮里駅前地区における再開発の進捗
- ・平成26年度自転車駐車場の実績評価結果
- ・平成26年度荒川区民住宅の実績評価結果

平成27年度の永久水利施設の整備
 ・荒川区防災・減災等に資する国土強靱化地域計画の素案
 ・救命講習受講優良証及びマークの交付
 ・荒川区防災・減災等に資する国土強靱化地域計画の策定

【調査研究事項】
 ・「荒川区住宅等の建築に係る住環境の整備に関する条例」の一部改正

【調査研究事項】
 ・山梨県北杜市との災害時相互応援に関する協定の締結

【調査研究事項】
 ・山梨県北杜市との災害時相互応援に関する協定の締結

【調査研究事項】
 ・山梨県北杜市との災害時相互応援に関する協定の締結

観光文化推進調査特別委員会

俳句文化振興事業の推進や国立大学法人東京藝術大学大学院の誘致事業における建物の借受及び転賃を調査

開会数 3回
 調査研究事項2件

【調査研究事項】

・俳句文化振興事業の推進
 ・国立大学法人東京藝術大学大学院の誘致事業における建物の借受及び転賃

【区外視察】
 ・墨田区「東京スカイツリー付近のまちのにぎわい状況」

【調査研究事項】
 ・荒川区公共建築物中長期改修実施計画の進捗状況
 ・公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針

公共施設老朽化等対策調査特別委員会

荒川区公共建築物中長期改修実施計画の進捗状況を調査

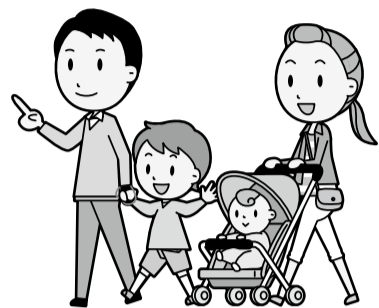
開会数 3回
 調査研究事項2件

【調査研究事項】

・荒川区公共建築物中長期改修実施計画の進捗状況

【区内視察】
 ・サンパール荒川の改修状況

【調査研究事項】
 ・荒川区議会ホームページにて、各委員会の会議録を順次公開しています。なお、会議録を公開するまでの期間は、委員会の模様を音声で配信しています。是非ご利用ください。



石浜ふれあい館



荒川公園永久水利

意見書提出

9月会議では2件を可決し、関係機関に提出しました。

地方税財源の拡充に関する意見書

(衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・財務大臣・総務大臣・社会保障・税一体改革担当大臣・内閣府特命担当大臣(経済財政政策)・地方創生担当大臣あて)

ヘイトスピーチ対策について法整備を含む強化策を求める意見書

(衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・法務大臣あて)

区議会だよりをリニューアルします!

いつも『あらかわ区議会だより』をご覧いただき、誠にありがとうございます。区議会だよりは、1月1日発行予定の新年号からデザインを一新します。区議会についての情報をより分かりやすく、見やすい紙面でお届けします。

請願・陳情とは

請願・陳情は、区政に関する意見や要望を、議会に対して文書で提出する制度です。請願は、区議会議員が内容に賛意を表し紹介議員となっているものを言い、陳情は、紹介議員のないものを言います。荒川区議会では、請願も陳情も原則として同じ取り扱いをしています。提出された請願・陳情の審査は、本会議で、関係の委員会に付託されます(※付託とは、審査を委託することです)。委員会で審査された結果、結論が出た請願・陳情は、本会議で議決を行います。請願・陳情の内容について、議会として賛成できるものは「採択」、趣旨には賛成できるが、当分の間、具体的な実現は難しいと考えられるものは「趣旨採択」、賛成できないものは「不採択」とします。賛成した内容は、区の仕事に生かすよう執行機関に伝えます。内容が、国や東京都などが行う仕事の場合は、意見書等を出すこともあります。議決の結果は請願・陳情者の代表の方にお知らせいたします。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。



内線 3614

議案の審議結果

平成27年度定例会・9月会議

○ 賛成 × 反対 - 退席
太字は討論のあったことを示す

議案番号・議案名	会派名・結果 (数字は会派人員)										結果
	自由民主党荒川区議会議員団	公明党荒川区議会議員団	日本共産党荒川区議会議員団	民主党・市民の会	あらかわ元気クラブ	日本創新党	荒川区改革の会	荒川区議会維新の党	結果	結果	
議員提出議案(2件)											
第6号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第7号	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
区長提出議案(26件)											
第9号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第10号	○	○	×	※	×	○	○	○	○	○	可決
第11号	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
第12号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第13号	○	○	×	※	○	○	○	○	○	○	可決
第14号	○	○	×	※	×	○	○	○	○	○	可決
第15号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第16号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第17号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第18号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第19号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第20号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第21号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第22号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第23号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第24号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第25号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第26号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第27号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第28号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第29号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
第30号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
認定第1号	○	○	×	○	-	×	○	○	○	○	認定
認定第2号	○	○	×	○	-	○	○	○	○	○	認定
認定第3号	○	○	×	○	-	○	○	○	○	○	認定
認定第4号	○	○	×	○	-	○	○	○	○	○	認定

※会派で意見が分れました。